

家庭用燃料電池「エネファーム」の新製品を販売開始

平成26年4月16日
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、4月24日（木）より東芝燃料電池システム株式会社製の家庭用燃料電池「エネファーム」の新製品の販売を開始いたします。

新製品は、低コスト材料の開発や構造の簡素化により、現行品よりも56万円低価格となる2,050,000円（税抜、設置工事費別）となりました。発電効率は現行品の38.5%から39%^{※1}に、総合効率は94%から95%^{※1}に向上し、従来方式と比べて、年間のCO₂削減効果は約1.4t^{※2}（杉の木約100本分の年間CO₂吸収量に相当）、年間の光熱費を約7万3千円^{※2}削減できます。

また、標準装備リモコンは精細な表示で文字やグラフがより見やすくなりました。リモコンの表示画面では、ガスや電気の使用状況や毎日の節約状況をご確認いただけます。

なお、エネファームの導入にあたっては、国から1台あたり38万円を上限に「民生用燃料電池導入支援補助金」が支給されます。また、地方自治体においても独自の補助金制度のある自治体があります^{※3}。

北陸ガスでは、平成23年6月に「エネファーム」を発売して以来、住宅メーカーさまやお客さまにご採用いただき、平成25年度は230台の目標に対して261台を販売し、平成26年3月までの累計販売台数は455台となりました^{※4}。

北陸ガスでは、価格の低減とお客さまの利便性向上を実現した新製品により、平成26年度は平成25年度実績の1.4倍となる360台の販売を目指します^{※4}。今後も「エネファーム」および太陽光発電を組み合わせた「ダブル発電」の一層の普及促進に取り組み、お客さまの快適な暮らしの実現と環境負荷の低減に貢献してまいります。

※1 低位発熱量基準（LHV）。燃料ガスを完全燃焼させたときに生成する水蒸気の凝縮潜熱を発熱量に含めない熱量

※2 試算条件は以下のとおり

- ・戸建4人家族を想定。ガス温水床暖房（リビング・ダイニング）、ガス温水浴室暖房乾燥機、ガスコンロ、電気エアコンを使用
- ・比較対象となる従来方式は、潜熱回収型ガス給湯暖房熱源機を使用
- ・CO₂排出係数：電気 0.69kg-CO₂/kWh（「中央環境審議会地球環境部会目標達成シナリオ小委員会中間取りまとめ」（平成13年7月より）、ガス 0.513kg-CO₂/MJ（当社新潟地区データ）

※3 補助金予算には限りがあります。

※4 販売台数、目標ともに成約ベース

以上

<お問い合わせ先>

北陸ガス株式会社

総合企画グループ 担当 山田

TEL：025-245-2214

<資料>

1. エネファーム新製品の外観とリモコン



2. 仕様・価格

		新製品	(参考) 現行品
発売日		2014年4月24日	2012年8月1日
製造メーカー		東芝燃料電池システム(株)	同左
性能	発電出力	250~700W	同左
	定格発電効率	39.0% (LHV※ ¹) 35.2% (HHV※ ²)	38.5% (LHV※ ¹) 35.0% (HHV※ ²)
	定格総合効率	95.0% (LHV※ ¹) 85.7% (HHV※ ²)	94.0% (LHV※ ¹) 85.0% (HHV※ ²)
	貯湯タンク容量	200リットル	同左
	貯湯温度	約60℃	同左
寸法	燃料電池発電ユニット(mm)	高さ1000×幅780×奥行300	同左
	排熱利用給湯暖房ユニット(mm)	高さ1755×幅750×奥行440	高さ1760×幅750×奥行440
重量	燃料電池発電ユニット	約94kg	同左
	排熱利用給湯暖房ユニット	約92kg	約100kg
メンテナンスサポート期間		10年間	同左
本体+標準リモコンセット 標準価格(税抜) (設置工事費別)		2,050,000円	2,610,000円

※1 低位発熱量基準。燃料ガスを完全燃焼させたときに生成する水蒸気の凝縮潜熱を発熱量に含めない熱量

※2 高位発熱量基準。燃焼ガスを完全燃焼させたときに生成する水蒸気の凝縮潜熱を発熱量に含めた熱量